

## 鹿児島地区漁業士会の浜辺体験事業

鹿児島地域振興局 林務水産課

### 【背景・目的】

鹿児島地区漁業士会(山口 太吾会長/会員9名)は、漁業就業者の確保や漁業後継者の育成対策のほか、藻場造成を中心とした環境保護活動や漁獲物の付加価値向上対策の一環として、2ヶ月に1回の割合で、“おいどん市場”にて生鮮魚介類及び水産加工品等の販売活動(漁師直売 浜の逸品)を一般消費者を対象に実施(平成20年度以降7回実施)している。

平成21年度は、鹿児島市内の小学生を対象とした“魚つかみ取り大会”及び“魚捌き方教室”を開催することにより、水産業に対する理解をより深めてもらうとともに、食糧としての水産資源の重要性を認識してもらうほか、アジ類を漁獲するまき網漁業の紹介をした後、魚の骨組みを知り、魚を上手に子供達に食べてもらうことにより、魚と漁業の素晴らしさを理解してもらうことを目的とした。

### 【普及の内容・特徴】

- 1 場 所  
おいどん市場(鹿児島県漁連総務指導室)〒890-0062  
鹿児島市与次郎2丁目2295-235(TEL: 099-253-3153, FAX: 099-253-3150)
- 2 日 時  
(1) 1回目……平成21年9月26日(土)/09:30~17:00  
(2) 2回目……平成21年11月21日(土)/09:30~17:00  
(3) 3回目……平成22年2月13日(土)/09:30~17:00
- 3 内 容  
①まき網・一本釣漁業紹介パネル展示……1・2・3回目  
②魚のつかみどり大会……1回目  
③魚の捌き方教室……1回目  
④魚の名前あてクイズ大会……2・3回目  
⑤焼き魚の正しい食べ方教室……2・3回目

### 【成果・活用】

- 1 魚のつかみどり大会  
1回につき活魚車からハマチ・カンパチ(400g)約50尾を特設プール(おいどん市場駐車場内に設置/6m×6m×10cm)内に放養し、当日募集した小学生を30名ずつ、午前中に3回、午後に3回の計6回実施し、約200名の小学生が参加した。
- 2 魚の捌き方教室  
上記の合間に希望者を対象に、おいどん市場駐車場内に設置した特設テント内(1張)で3名ずつを対象に、別途準備した鮮魚用ハマチ・カンパチ(400g)を1名1尾ずつ捌いてもらった。この際、鹿児島地区漁業士会会員らが小学生及び母親に魚の捌き方を指導し、約20名の親子が参加した。
- 3 魚の名前あてクイズ大会  
特設プール(3m×3m×10cm)内に、チダイやハマチのほか、ヒラメ等10種類以上の魚を放養し、小学生以下の子供(親子)を対象に、5種類以上の魚の名前を用紙に記入してもらった。正解者にはマアジ(生鮮・干物)を1尾ずつ配布し、2回で約100名の子供達が参加した。
- 4 焼き魚の正しい食べ方教室  
食べる前に魚の骨組みと正しい食べ方を説明したパネル(B-1版)を使用して、焼き魚の上手な食べ方について漁業士が紹介した後、コンロで焼いたマアジの塩焼き1尾を子供達(親子、祖父母と孫)に食べてもらった。  
参加した子供達には、参加賞としてマアジ(生鮮・干物)を1尾ずつ配布し、2回で約60名の子供達が参加した。

# 鹿児島地区漁業士会の浜辺体験事業

## ○魚のつかみどり大会 H21.9.26(土)



## ○魚の捌き方教室 H21.9.26(土)



## ○魚の名前あてクイズ大会 H21.11.21(土), H22.2.13(土)



## ○焼き魚の正しい食べ方教室 H21.11.21(土), H22.2.13(土)

